

車種別接続情報

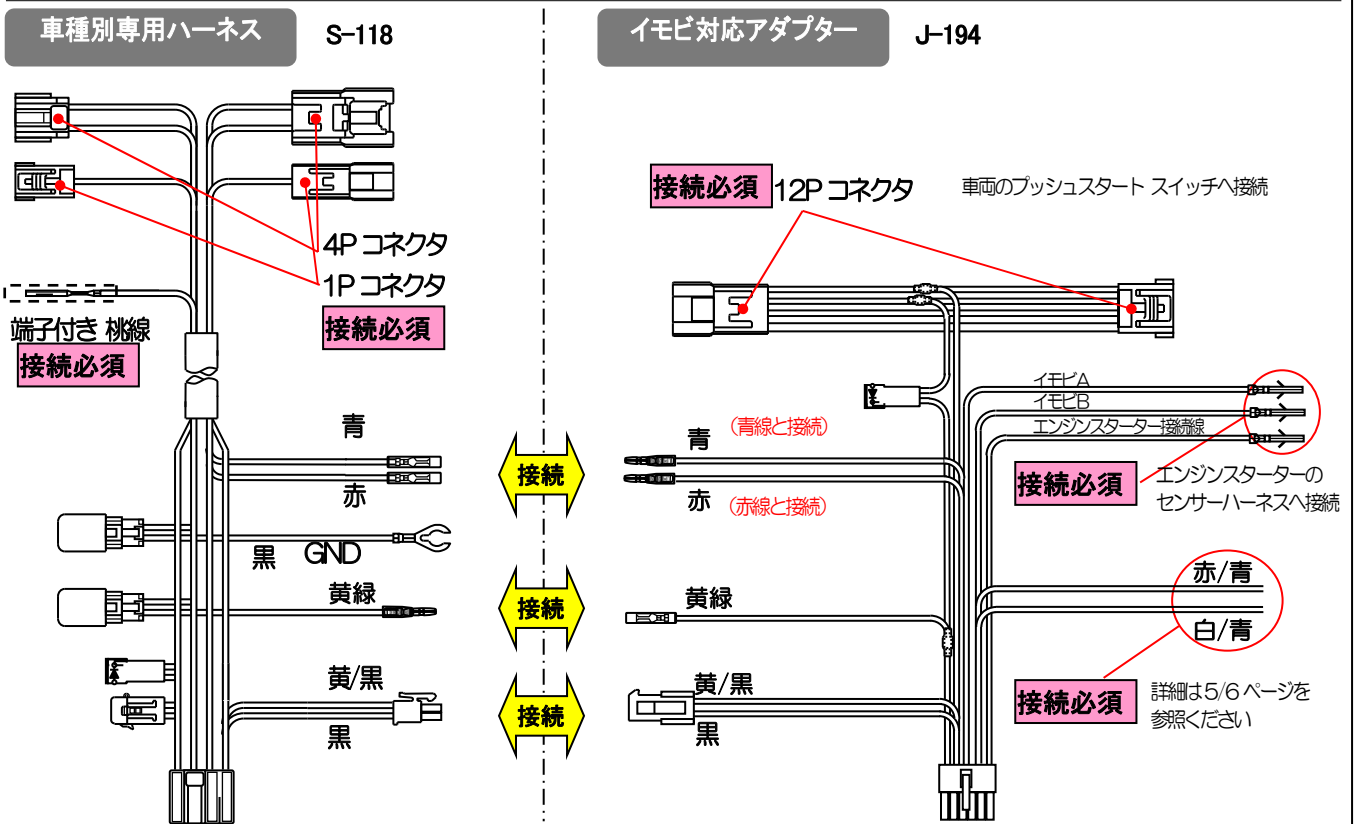
管理 No. S-0054 (1/6)

メーカー	スズキ	車体型式	MR31S、MR41S
車種	ハスラー（プッシュスタート装備車）	年式	H26.1～R2.1
専用ハーネス	S-118 & J-194		

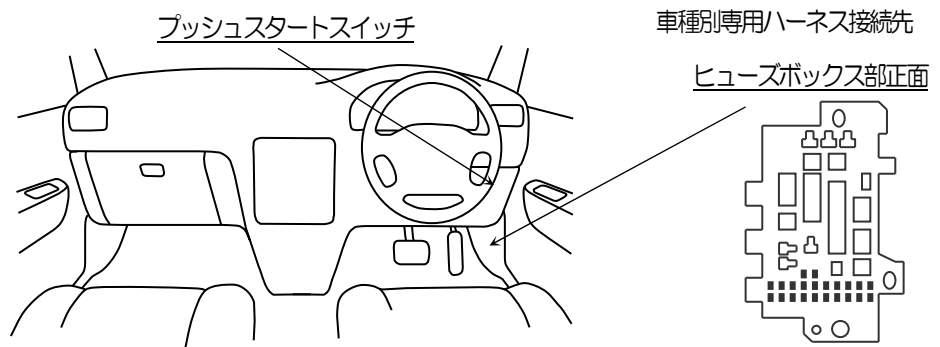
車両故障を防止するため、必ずバッテリーのマイナス端子を外し、2～3分待ってから作業を行ってください

- エンジンスターターで始動を行うとメーター内マルチインフォメーションディスプレイに、「スタートシステム要点検」と表示が出ます。エンジンスターターの動作（アイドリング）を停止し、車輛本来の始動方法（プッシュスタートスイッチを押して）でエンジン始動を行うと表示は消灯します。
乗車、走行する際は、必ずエンジンスターターを停止させ、車輛本来のエンジン始動方法で掛けなおしを行なってください。
- オルタネータ線（L端子）の接続はできません。
- ドアロック制御の取り付けはできません。
エンジンスターターでのアイドリング中は、純正キーレスでのロック/アンロック操作ができません。
車両に乗車する際は、一旦リモコン操作でエンジンを停止させてください。
- ターボタイマー機能は使用できません。（設定は OFF のままご使用ください）

S-118、J-194 の接続



S-118の（メス）ギボシ端子付き赤線/青線、（オス）ギボシ端子付き黄緑線、2ピン（黄/黒線、黒線）カプラを
J-194の（オス）ギボシ端子付き赤線/青線、（メス）ギボシ端子付き黄緑線、2ピン（黄/黒線、黒線）カプラと接続します



車種別接続情報

管理 No. S-0054 (2/6)

メーカー	スズキ	車体型式	MR31S、MR41S
車種	ハスラー（プッシュスタート装備車）	年式	H26.1～R2.1
専用ハーネス	S-118 & J-194		

車両故障を防止するため、必ずバッテリーのマイナス端子を外し、2～3分待ってから作業を行ってください

接続手順

S-118の取り付け手順（接続先は運転席足元ヒューズボックス部内となります）

- S-118の1Pコネクタと4Pコネクタの接続
- S-118の端子付き桃色線の接続の順に作業を行ってください。

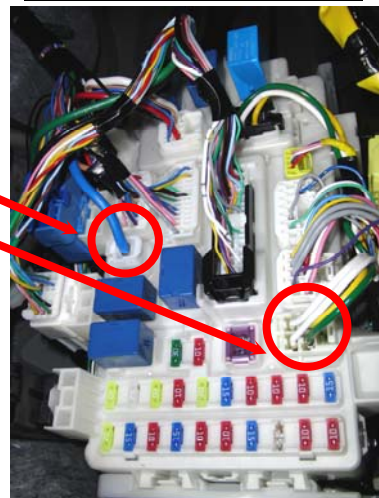
1. S-118の1Pコネクタ、4Pコネクタの接続について

S-118 1Pコネクタ接続先

S-118 4Pコネクタ接続先

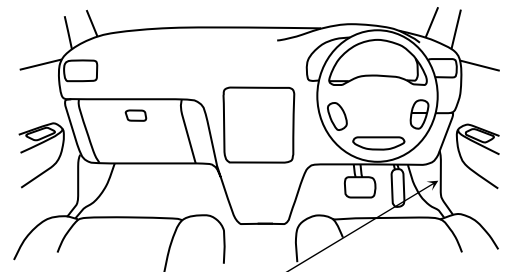
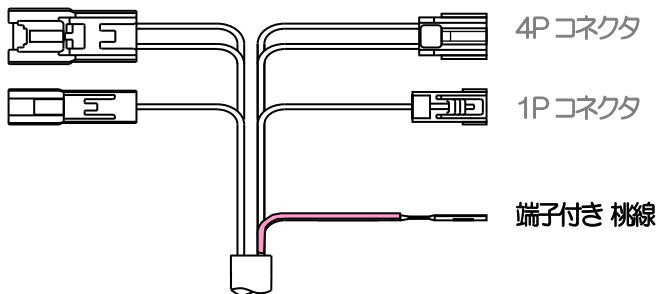
S-118の1Pコネクタ、4Pコネクタは、車両のコネクタを外し、間に割り込ませ接続します。

運転席足元のヒューズボックス部

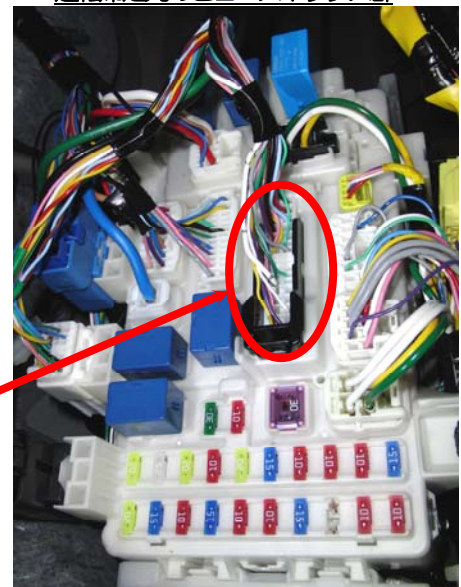


2. S-118の端子付き桃色線の接続について

車種別専用ハーネス



運転席足元のヒューズボックス部



S-118 端子付き桃色の接続について

右記写真の（レバー付き）コネクタに配線を接続します。下記の手順でコネクタに配線を差し込む準備を行います。

作業手順

- レバーを引き起こし、コネクタを外す
- レバー部分をコネクタから外す
- コネクタ（側面）のリテーナーを浮かす
- S-118の端子付き桃線をコネクタに差し込む
- 外した手順と逆の手順で元に戻す

S-118 端子付き桃線の接続先（レバー付きコネクタ）

← エンジンルーム側

車種別接続情報

管理 No. S-0054 (3/6)

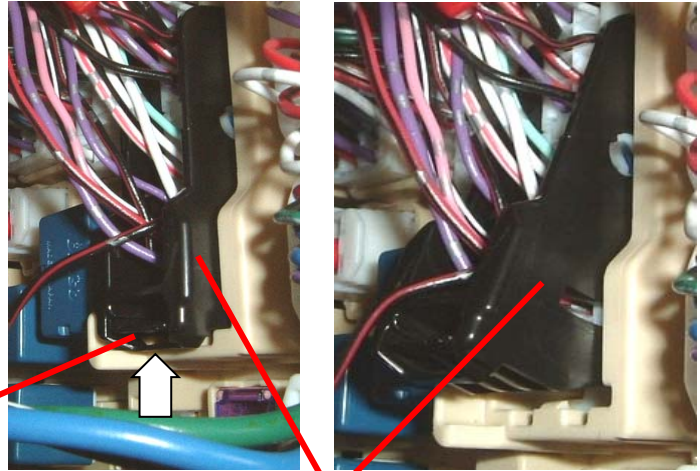
メーカー	スズキ	車体型式	MR31S、MR41S
車種	ハスラー（プッシュスタート装備車）	年式	H26.1～R2.1
専用ハーネス	S-118 & J-194		

車両故障を防止するため、必ずバッテリーのマイナス端子を外し、2～3分待ってから作業を行ってください

A. レバーを引き起こし、コネクタを外す

レバーのロックを（写真矢印の方向に）外しながら、レバーを約45度まで起こします。コネクタをヒューズボックス部から取り外します

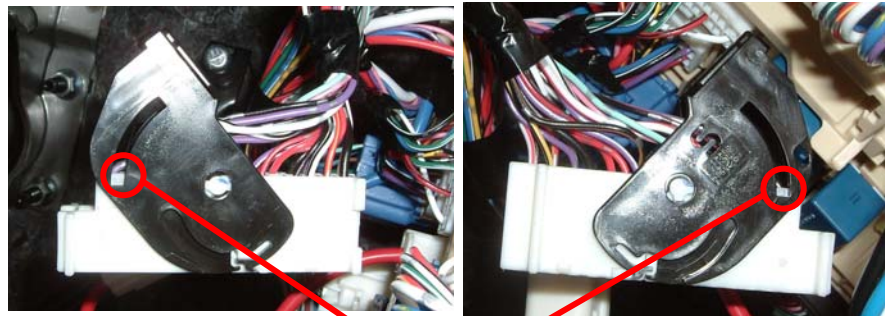
ロック



レバー

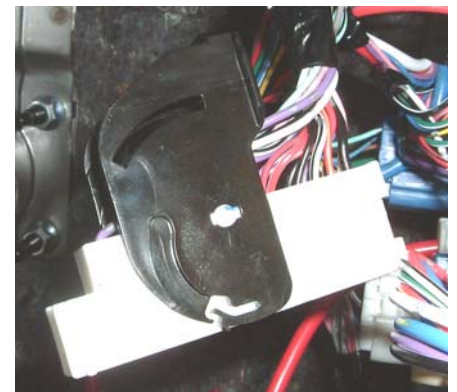
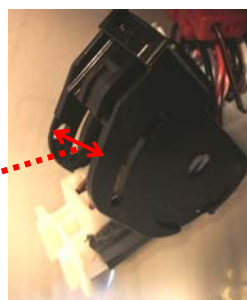
B. レバー部分をコネクタから外す

レバーの両側を広げてツメを外しながら、レバーを約90度まで起こします。



ツメ（左右両面に有ります）

左右に広げる
レバーの両側を広げてツメを外



約90度起きた状態



カギ穴

レバーを約90度まで起こしたら、レバーの側面（左右）にあるカギ穴とコネクタのツメを合わせ、コネクタからレバーを外します。

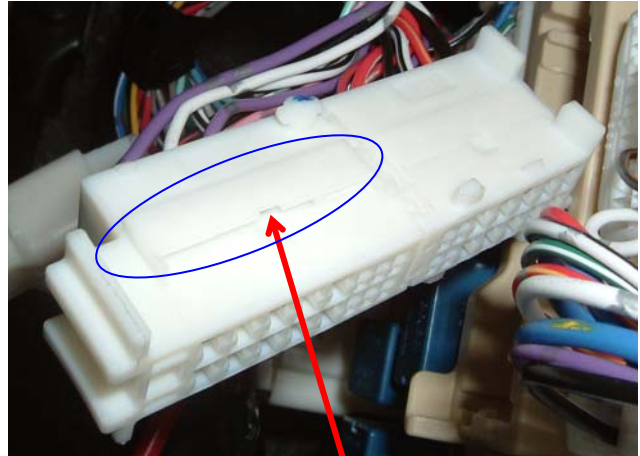
メーカー	スズキ	車体型式	MR31S、MR41S
車種	ハスラー（プッシュスタート装備車）	年式	H26.1～R2.1
専用ハーネス	S-118 & J-194		

車両故障を防止するため、必ずバッテリーのマイナス端子を外し、2～3分待ってから作業を行ってください

C. コネクタのリテナーを浮かす

コネクタ側面にあるリテナーに先の細い精密ドライバなどを押し当て、リテナーを浮かせます。

（リテナーを浮かせないとS-118の端子付き桃線がコネクタに差し込めません）

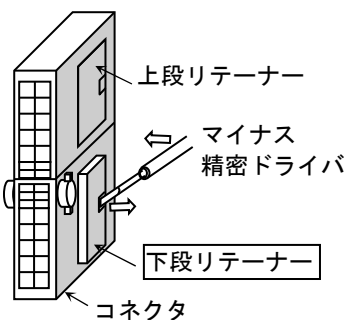


*青丸部分 下段リテナー

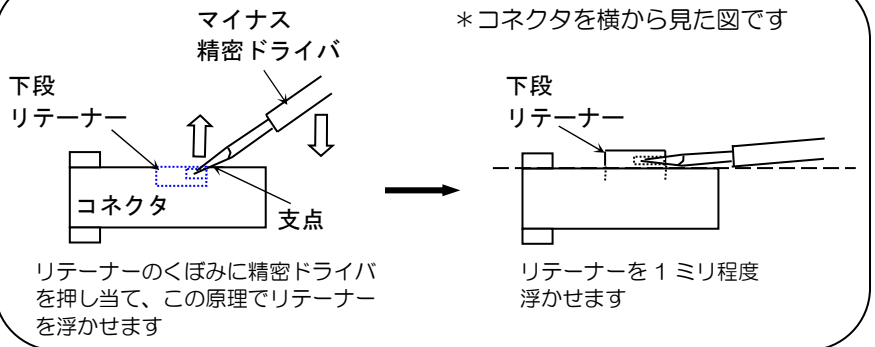
<注意事項>

- 無理に力を掛けないでください。
リテナーが破損する可能性があります。
- リテナーは本来、コネクタから外れません。
コネクタから外れると元に戻りません。
- リテナーを引っ張らないでください。

この部分に精密ドライバなど先の細いものを押し当て、てこの原理でリテナーを浮かせます。（1ミリ程度浮くようにします）

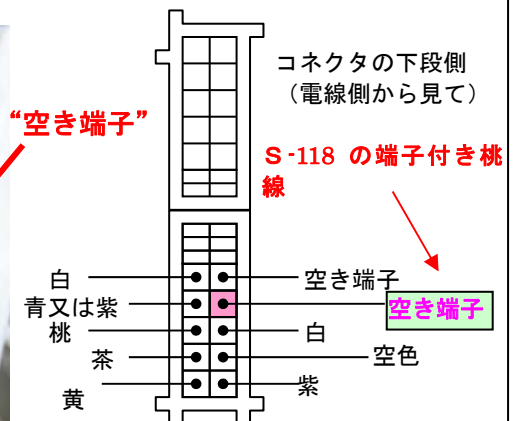
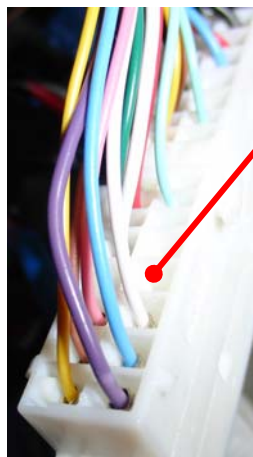


リテナーの浮かせ方(てこの原理を使用した方法)



D. S-118の端子付き桃線をコネクタに接続する

右の写真（空き端子）の場所にS-118の端子付き桃線を差し込みます。
（端子付き桃線についている保護チューブを取り外してから差し込んでください）



S-118 端子付き桃線の接続

- 端子位置、周りの配線色を確認し、確実に作業を行ってください。
 - 端子の向きが合っていないとコネクタに挿入できません。
 - 「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- 差し込んだ後、軽く引っ張り抜けない

車両装備品により配線の有無が異なることがあります

メーカー	スズキ	車体型式	MR31S、MR41S
車種	ハスラー（プッシュスタート装備車）	年式	H26.1～R2.1
専用ハーネス	S-118 & J-194		

車両故障を防止するため、必ずバッテリーのマイナス端子を外し、2～3分待ってから作業を行ってください

E. 外した手順と逆の手順で元に戻す

- リテナーを元に戻します。（浮かせたリテナーを押し込みます）
→リテナーが元に戻らない場合、配線が奥まで差し込まれていません。
- コネクタにレバーを取り付けます。
→取り外した手順と逆の手順でレバーを取り付けます。
- コネクタをヒューズボックスに取り付けます。
→取り付け後、軽くコネクタを引っ張り確実に接続されていることを確認します。

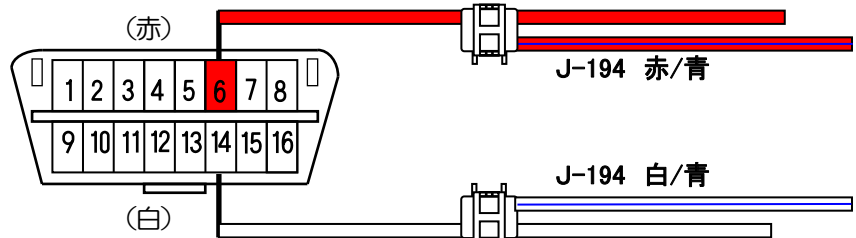
J-194の赤/白、青/白線の接続



ステアリング左下に故障診断コネクタがあり、故障診断コネクタの通信線に J-194 の赤/青線、白/青線を接続します。

J-194 付属のエレクトロタップを使用して車両故障診断コネクタの通信線に下記のように接続してください。

故障診断コネクタ（接合面から見て）

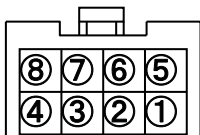


【注意】

車両故障診断コネクタ内には、接続指定した場所以外に複数の白線があります。接続時、ご注意ください

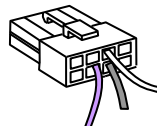
J-194のイモビA、イモビB、エンジンスターター接続線の接続

センサーハーネスが8ピンタイプでの接続

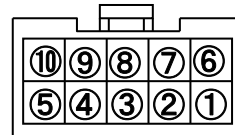


スターターユニットのセンサーハーネス（コネクタ-2）が8ピンのコネクタ

- ② 端子…イモビ対応アダプターの灰/黒線を接続します
- ⑥ 端子…イモビ対応アダプターの白/黒線を接続します
- ③ 端子…イモビ対応アダプターの紫線を接続します。

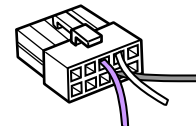


センサーハーネスが10ピンタイプでの接続



スターターユニットのセンサーハーネス（コネクタ-2）が10ピンのコネクタ

- ② 端子…イモビ対応アダプターの灰/黒線を接続します
- ⑦ 端子…イモビ対応アダプターの白/黒線を接続します
- ⑧ 端子…イモビ対応アダプターの紫線を接続します。

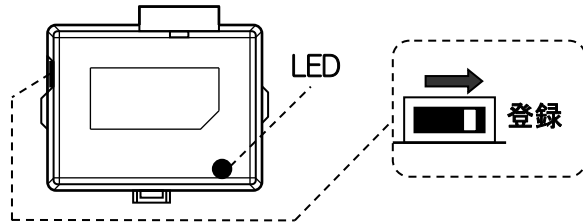


イモビ対応アダプターJ-194の登録

エンジンスターター、J-194 取り付け後、エンジンスターターの初期設定パーキング (P)・ポジション検出を行います。その後、イグニッション電源 (IG) が OFF であることを確認し、以下の手順で登録作業を行います。

登録手順

- 1** 登録スイッチを 『登録』 側に切り替えます。
赤点滅 → 緑点滅 に変化します。

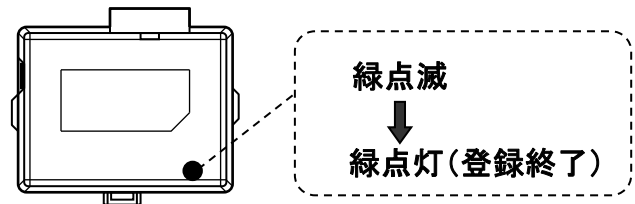


- 2** LED が緑点滅に変化したことを確認し、プッシュスタートスイッチ操作で IG ON にします。
(電子キーを車両に持ち込み、ブレーキペダルを踏まずにプッシュスタートスイッチを 2 回押すと IG ON になります)

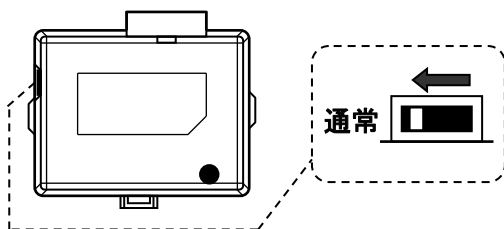
***必ず LED が緑点滅に変化してから IG ON にしてください。**
緑点滅する前に IG ON にした場合、ID 登録できません (登録ができない場合、下記 ★印を参照ください)

- 3** LED が緑点滅から緑点灯に変化したら、プッシュスタートスイッチ操作で OFF に戻します。
(ブレーキペダルを踏まずにプッシュスタートスイッチを 1 回押すと OFF に戻ります)

LED が緑点滅 → 緑点灯に変化します。



- 4** 登録スイッチを 『通常』 側に戻します。
(LED が消灯します)



★ 手順2、手順3で登録ができなくなった場合

一度リセット操作をする必要があります。
IG を ON から OFF に戻し、登録スイッチは「登録」側のまま J-194 のハーネスの抜き差しを行い、手順 **2** からやり直してください。
(ハーネスの抜き差しを行うと、LED が緑点滅の状態になります)

以上で登録作業は完了です。リモコン操作でエンジン始動の確認をしてください。

エンジンスターターでの始動後、メーター内のディスプレイに「スタートシステム要点検」と表示されますが、エンジンスターターを一旦停止させ、車両本来の方法でかけ直すことで表示は消えます。